

ご来館の皆さまへ

お願い

- ・ペットの同伴はお断りしております（ただし盲導犬・介助犬・聴導犬は可）
- ・館内での飲食はご遠慮ください（熱中症対策の水分補給を除く）

西部3Rステーションではフードドライブ活動を行っています！

あなたのご家庭に食べきれずに余っている未使用の食品はありませんか？西部3Rステーションでは常時「フードドライブ」活動を行っています。ご提供いただいた食品は「特定非営利活動法人フードバンク福岡」を通じて、子ども食堂や福祉施設など食べ物を必要としている方々へ無償で配布されます。ご提供いただく食品は1点から大歓迎。これまで寄付の方法がわからず捨てていた食品を持ち寄り、支援の輪を広げましょう。

ご家庭で  
余っている食品を  
ご提供ください！



**日時** 毎日10:00～16:00※休館日を除く **場所** 西部3Rステーション2階受付  
**対象となる食品** 未使用・未開封のもので、賞味期限まで1か月以上あるもの。  
缶詰やレトルト食品、乾物、菓子、米、飲料、調味料など常温保存可能なものに限りです。

西部3Rステーションでは、各種体験講座を行っています。福岡市内にお住まいの方、通勤や通学をされている方なら、どなたでもご参加いただけます。みなさんも身近な3Rを体験してみませんか？

体験講座

すべて無料！

内容は変更する場合があります

牛乳パックで紙すき体験

毎日 10:30～15:30  
所要時間30分程度  
申込 随時



食品トレイでマグネットインテリア

毎日 10:30～15:30  
所要時間30分程度  
申込 随時



はぎれ(布・革)で作るストラップ

毎日 10:30～15:30  
所要時間30分程度  
申込 随時



身近なもので万華鏡

毎日 10:30～15:30  
所要時間30分程度  
申込 随時



ハーブ入り「リサイクル」せっけん作り

水曜日 10:30～11:30  
定員 10名/日(先着順)  
申込 希望日の3日前まで



体験講座の申込方法 電話、または西部3Rステーションの2階受付で直接お申込みいただくか、①体験内容②住所③氏名④年齢⑤電話番号を明記のうえ、メール(seibuplaza2@f-kankyo.or.jp)、FAX(092-882-4580)にてお申込みください。

生ごみ堆肥相談会

生ごみの堆肥化でお困りの方は何でも相談ください。

■ふくおか環境倶楽部主催  
日時/毎月第2・第4土曜日  
13:00～16:00

場所/2F啓発コーナー  
参加費/無料 事前申込/不要  
※基材・テキスト購入可



福岡市西部3Rステーション

開館時間 10:00-17:00  
(衣類の持ち込みは16:00まで)

休館日 月曜日  
(休日の場合は開館し、次の平日休館)

TEL 092-882-3190 FAX 092-882-4580  
〒819-0162 福岡市西区今宿青木1043番地の2

バスでのアクセス  
姪浜・天神・博多方面より  
西鉄バス「三陽高校前」バス停より徒歩約2分  
西鉄バス「生の松原団地南」バス停より徒歩約5分  
[西鉄バス情報]http://www.nishitetsu.jp/bus/



http://www.fukuoka-seibuplaza.com 福岡市西部3Rステーション 検索

ぐるぐる便利



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



私たちに身近なプラスチック

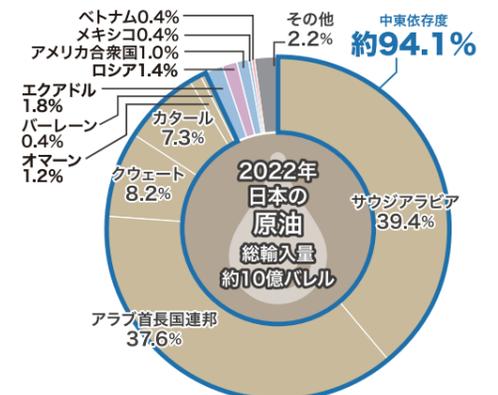
ペットボトルはリサイクル！

プラスチックは私たちの日常生活のあらゆる場所で利用されています。軽くて丈夫、さまざまな形状に加工できることから、私たちの生活を便利なものにしてきました。

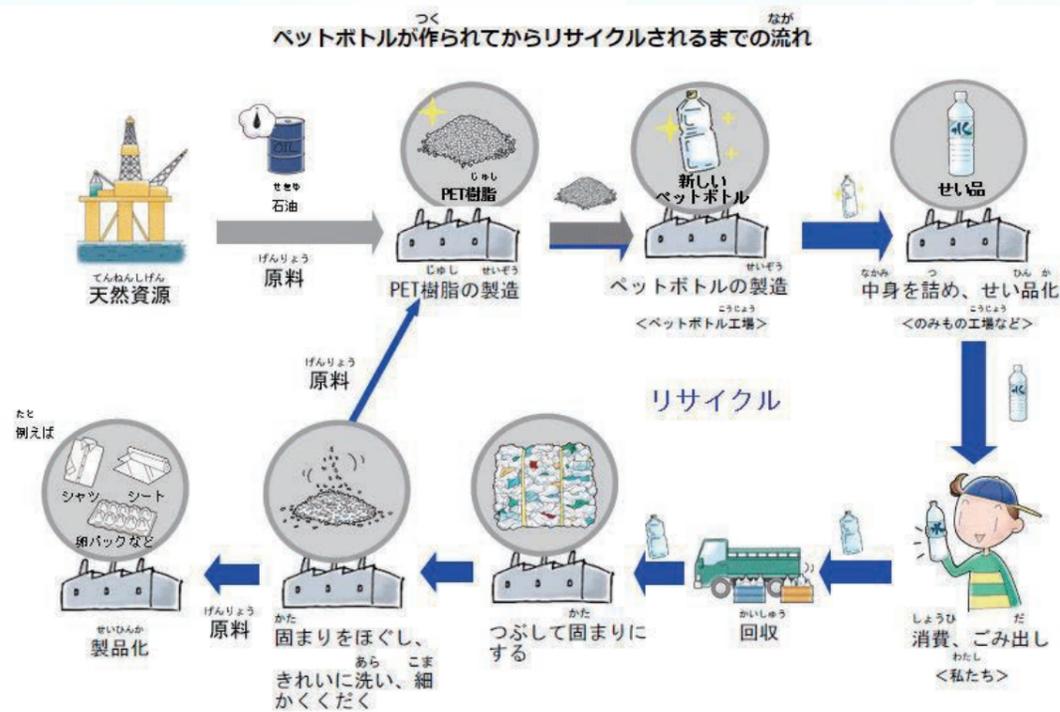
プラスチックは石油を原料としてできており、限りある資源です。また、日本はそのほとんどを海外からの輸入に頼っています。その限られた資源を有効活用していくためにも、プラスチックのリサイクルが大切です。

そのなかでも今回は、PET(ポリエチレンテレフタレート)が原料であるペットボトルのリサイクルの流れをたどってみます。

日本の化石燃料輸入先(2022年)



# リサイクルの流れをみてみよう!



出典：小学生のための環境リサイクル学習HP

まず、使い終わったペットボトルは、キャップとラベルを外してから、水ですすいで横につぶします。つぶしたペットボトルは福岡市指定の袋に入れて出すか、スーパーやコンビニなどの回収ボックスに入れます。

次に、回収されたペットボトルは、選別工場に運ばれます。ここで回収されたペットボトルを見てみましょう。すると……



キャップやラベルがついていたり、汚れていたり、中身が残っているものがありました。これらの異物は、人の目で確認して手作業で選別しますが、たくさん混入しているとすべて除去するのは難しくなります。だからこそ、私たちが使い終わったペットボトルを正しく分別することが大切です。



異物の選別をしたあと、運びやすくするために圧縮して梱包(こんぼう)します。こうしてできたかたまりはべール品といいます。右の写真がべール品です。

そして、べール品はリサイクル工場へと運ばれます。

出典：福岡市環境局HP「ペットボトルはキャップとラベルをはずして出そう！」

## ? なぜペットボトルのキャップとラベルは同じプラスチックなのに分ける必要があるのだろう?

福岡市では、ペットボトルを分別するときキャップとラベルを外すルールになっています。それはなぜでしょうか。同じプラスチックだからいっしょにリサイクルできそうですね。

しかし、同じプラスチックでもキャップとラベルは、ポリエチレン(PE)やポリプロピレン(PP)製であり、材質が異なるので、いっしょにリサイクルができません。右のようなマークを見たことはありませんか。ボトルにはペットボトルマークが、キャップとラベルにはプラマークが表示されています。分別に迷ったときはこれらのマークを探してみましょう。



## ペットボトルのリサイクルの方法

ペットボトルは主にマテリアルリサイクルという方法でリサイクルされています。マテリアルリサイクルとは、物から物へと再利用することをいい、それは2種類あります。一つがカスケードリサイクルで、リサイクル前と別の製品を作ることです。リサイクルされた原料は、不純物が混入することで強度や衛生面など品質が下がるため、例えばペットボトルを繊維製品の原料として再利用します。この方法は、再利用するほどいずれは使えなくなるというデメリットがあります。



出典：PETボトルリサイクル推進協議会HP

そこで、もう一つの方法である水平リサイクルが近年注目されています。水平リサイクルは、リサイクル前と同じ製品を作ることです。この方法では、不純物を工夫や技術によって取り除くことで、資源を半永久的に利用できます。このことから、製造工程のCO2排出量を減らすこともできます。特にペットボトルの場合には、ボトル to ボトルリサイクルと呼ばれ、とあるリサイクル業者の試算では、ペットボトル製造工程において約60%のCO2削減効果があるとされています。

福岡市では、令和4年度に家庭から収集したペットボトルの半量程度を対象に、水平リサイクルを試行実施しました。リサイクルに投入したペットボトル1,523トンのうち1,230トンが新たなペットボトルに利用されました。約81%が水平リサイクルされたこととなります。令和5年度には収集したペットボトルの全量を対象として試行実施しているそうです。(福岡市環境局HP)

ここまで、ペットボトルリサイクルの流れを見てきました。収集して、工場で手作業の選別をして、原料をつくる。リサイクルには、たくさんの工程と携わっている人たちがいます。

また、マテリアルリサイクルが2種類あることもわかりました。CO2削減の効果から水平リサイクルを進めていきたいですね。そこで、私たちにもできることがあります。それが正しい分別です。分別というひと工夫で、ペットボトルをより多くの資源に変えていきませんか。